

# 一斗樽担ぎ田や海へ 酒樽がえし



煌びやかな山車には恵比寿様



藤波の神目神社の春祭り「酒樽がえし」が4月2日に行われました。下帯姿の12人の男衆は神目神社でお祓いを受け、宮司と共に一斗樽に豪快に酒を注ぎます。酒が満たされると樽を担いで神社を出発。「わっしょい、わっしょい」とはやしながら近くの田んぼを目指して駆け出します。田んぼに入ると泥まみれになりながら激しく樽を奪い合います。樽は担がれたり



酒樽を追って田んぼに飛び込む



一斗樽に勢よく注ぐ



はやしながら駆ける

投げられ、泥水は大きく飛び散り見物客にも届きました。田を後に舞台は海へ。時折足を止め樽の酒を飲みながら向かいます。辺田の浜では腰や肩まで海に入り、水しぶきを上げ酒樽を追いかけてました。田や海で酒樽がひっくり返され奪われる姿から呼ばれる酒樽がえし。一年の豊漁と豊作を祈りました。



手を借りながら甲冑を身に付ける



拝殿でお祓いを受ける



今年も三本の矢が命中

4月3日、十郎原の日桂神社で「弓引き祭り」が行われ、甲冑をまとった氏子らが拝殿で神事に臨みました。神事の後、神社前にあるばんぼでは大将の号令に合わせ一斉に矢が放たれ豊作を祈願しました。境内に戻り弓引き神事が行われます。直径約30センチの的をめがけて矢を放ちその年の作柄を占います。当たった矢が多いほど良いとされ、氏子らは真剣な面持ちで狙いを定め順に弓を引きました。今年も全部で3本の矢が命中。的に矢が当たると固唾を飲んで見守っていた氏子や見物客から歓声が上がりました。集落に響き渡りました。



大将の号令で矢が勢よく放たれる



射手を邪魔をする猿田彦に惑わされずに的を狙う



今回大将を務めた石坂明広さんは昨年Uターンしてきた。以前と比べ見物客が多く注目されていることに驚き、「力を合わせて続けていきたい」と意気込みを語った。

# 甲冑まとい矢を射る 弓引き祭り

## 十郎原・日桂神社

## 藤波・神目神社



## 縄文の新たな足跡

# 真脇の地から「火きり臼」出土

町教育委員会は縄文時代では国内2例目となる「火きり臼」が真脇遺跡の発掘現場から発見されたことを発表しました。

発見された火を起こす道具「火きり臼」は平成27年12月に行った発掘調査で大量の木製品と一緒に発掘されたもので、真脇遺跡での出土品の洗浄作業や選別作業、さらに研究施設での詳細なデータ測定や検証作業を経て今回の発表となりました。

大きさは全長39・1センチ、幅は最大で5・5センチ、厚さ1・8センチの板状のスズです。板の片側の両側面に直径1・5センチのくぼみがあり、焦げた痕跡があることから、くぼみに木の棒を押し当てて回し火を起こす道具「火きり臼」であると考えられます。また、専門家による解析の結果、約3300年前の縄文時代後末期から晩期初頭のものと判明しました。

火きり臼のように効率良く火を起こす木の道具は、国内では弥生時代以降に多くの出土例あり、最古の物とされているのが北海道小樽市の忍路土場遺

跡で昭和61年に発見されたものです。真脇遺跡での発掘はそれに続く2例目となります。

調査に携わった首都大学東京の山田昌久教授は「火きり臼自体の年代と樹種を科学的に測定し縄文時代のものだと証明した意義は大きく、縄文時代に火きり臼を用いた火起こし技術が存在したことを確定できた」と真脇遺跡での今回の発掘を評価しました。

また、忍路土場遺跡で発見されたものは、当時、年代測定技術に議論があったことから、弥生時代と推定される他のものよりやや古いとされるに留まり、縄文時代にも火きり臼が使われていたことが断定されてきませんでした。しかし、測定技術が進歩した今回の真脇遺跡の調査により、1例目の調査結果を確実なものとすることができました。



平成21年度から27年度の発掘現場



発掘された「火きり臼」。連なる2つのくぼみが特徴。炭化した痕があった。



出土発表会で、真脇遺跡での発見の意義を解説する山田教授（右から2番目）



大正七年生まれ 百歳

## 健康長寿をお祝い

### 上野 光枝 さん(姫)

3月27日、上野光枝さんが100歳の誕生日を迎えました。持木町長がお祝いに訪れ、長寿祝い状と花束を手渡しました。

上野さんの趣味は、入浴、談話、読書。好きな食べ物はプリンやゼリーなど甘い物だそうです。お子さんが4人、お孫さんが8人、ひ孫さんが12人いて、たくさんの家族がお祝いに来ました。



### 浅山 ふささん(布浦)

小木の浅山ふささんが100歳を迎え、誕生日の4月1日に、持木町長から長寿祝い状と花束を受け取りました。浅山さんは、華道や茶道が趣味で、師範まで務められました。

家族や職員からかけられたお祝いの言葉に浅山さんは「みなさんおかげで」と笑顔で話し、喜びと感謝を表しました。



### 橘 ふじさん(小木)

橘ふじさんが4月9日に100歳の誕生日を迎えました。持木町長が柳田温泉病院を訪問し長寿祝い状と花束を手渡しました。

好きな食べ物はまんじゅう、橘さんは歌うのが好きで民謡を習われていました。お子さんや息子さんのお奥さんとお祝いに駆けつけ、職員手作りのお祝いメッセージが会場を彩りました。

## 第17回全国小学生ソフトテニス大会 竹口・宮下ペアが2位獲得

3月29日に千葉県で行われた第17回全国小学生ソフトテニス大会に出場した竹口陽菜（鶴川小・6年）、宮下日香莉（鶴川小・5年）ペアがダブルス女子5年生の部で第2位という素晴らしい成績を残しました。



賞状手に笑顔がこぼれる



大会結果は、各競技団体・学校などからの情報提供に基づき掲載しています。

## 第47回能登町駅伝競走大会



第47回能登町駅伝競走大会が4月1日、柳田植物公園園内で行われ、小学生から一般人まで16チームの約70人が一周2.8kmの特設コースを走り抜き、タスキをつなぎました。

号砲とともに勢よく駆け出す選手ら

一般の部①火の用心②のとらん一③④穴水走友会  
中学校の部①柳田中陸上部A②柳田中陸上部B  
小学校の部①上出あおい会Jr.②柳田公民館ランナース  
③能都宇出津チーターズ  
区間優秀者  
一般の部①石切大樹②田町臣悟③堂下優也④修田堅基  
⑤今井和人⑥坂本新二  
中学校の部①佐野来夢②本井蒼空③平泰成④浅井光太郎  
⑤横山慧秀⑥上野心葉  
小学校の部①南耕大②国重吉郎③佐野柊仁④堂前和海  
⑤寺下十座⑥本崎翔太  
女子の部①上野心葉②吉岡智子③上野紗更④寺下乃愛  
⑤谷口陽菜⑥小谷内里華